

巻頭三言

「自然健幸のまち いびがわ」

揖斐川町は、岐阜県の最西部に位置し、北は福井県、西は滋賀県に接しています。

面積は803.68km²で、森林が91.1%を占め、標高1100m、1300mの山々がそびえ、山間を縫うように揖斐川やその支流根尾川、粕川などが流れています。

町の中央を流れる揖斐川は、福井県との県境冠山に源を発し、山間溪流から濃尾平野へと流れ伊勢湾へと注ぎます。

豊かな水量を有するこの揖斐川を利用して建設されたのが、日本一の総貯水量を誇る徳山ダムです。その貯水量は、6億6千万トンと浜名湖の2倍の水を溜めることができます。ロックフィル式ダム堤頂の長さは427mもあり、新たな観光資源として多くの人が訪れています。

また、谷汲山華厳寺は「たにくみさん」の愛称で親しまれ、「西国三十三所巡礼」の第三十三番札所である満願の寺として、多くの参拝客が訪れます。

毎年11月に開催される「いびがわ

マラソン」は、全国から1万人を超える参加があり、ランナーたちは美しい紅葉のコースを駆け抜けます。

合併して10年目となる平成27年には、揖斐川町谷汲で皇太子殿下ご臨席のもと「第39回全国育樹祭」が盛大に開催され、記念すべき節目の年となりました。

しかし、近年の社会情勢を見ても、地域経済の衰退、少子高齢化の急速な進展などによる地域力の低下が懸念されています。

このような中、地域の特性や観光資源を最大限活用しながら、自然とともに健康で幸せに暮らせるまちをみんなで創ることを目指し、まちの将来像を「自然健幸のまち いびがわ」とした揖斐川町第2次総合計画を策定し、住民の皆さんと一緒にまちづくりを進めています。

さて、揖斐川町の国民健康保険事業の状況は、加入世帯数3308世帯、加入率41.07%、被保険者数5745人で26.27%の加入割合です。世帯数、被保険者数ともにここ数年減少傾向にあります。一



揖斐川町長 富田 和弘

人当たり医療費は増加傾向にあり、平成28年度一人当たり医療費は38万3848円で、医療費抑制が大きな課題となっています。

このため、ジェネリック医薬品の使用促進、特定健診・特定保健指導による生活習慣病予防や重症化予防に取り組んでいます。

特定健診受診率は、48.2%と県平均を上回っていますが、目標値には届いていない状況で、さらなる受診率向上のため、あらゆる機会を通じて特定健診の啓発に努めております。

来年度には、都道府県が財政運営の主体となる国民健康保険制度がスタートします。

これにより将来にわたって安定した国民健康保険事業の運営が確保されることを期待するとともに、揖斐川町としても、適正な保険給付と財源確保に努め、国保事業の円滑な運営に取り組みでまいります。

（ 揖斐川町のあらまし ）

DATA (平成29年6月1日現在)

- 面積 803.68km²
- 世帯数 8,055世帯
- 人口 21,872人
- 国保加入世帯 3,308 世帯
- 世帯加入率 41.07%
- 国保加入者数 5,745人
- 国保加入率 26.27%



町章



ひらがなの「い」をモチーフに揖斐川の流と新町の将来像から人々のふれあいと大人も子供も安心できる健康文化都市を表しています。
また、らせんを描くカーブは次世代につなぐ自然と歴史を表しています。

町の花



町の花

